

# 図書館のためのLeganto Analytics

アナリティクスは、図書館員が

スコープ、エンゲージメントとリソース使用率の観点から

リーディングリストがどのように使用されているかを

理解するために役立ちます

アナリティクスの一般的な紹介については、

アナリティクスセッションの紹介をご覧ください

アナリティクスにアクセスして、

**Leganto**リーディングリストに関連するレポートを

作成する方法を見てみましょう[アナリティクス]+[アナリティクスを作成]を

選択します。

レポートを作成するには、[作成]+[分析]に移動します

ここでは、コース、リーディングリスト、文献を

分析するためのデータを持つサブジェクト領域を確認できます

特に、**Leganto**に関連するデータ

例えば、コースリザーブ

リーディングリストを分析する場合に

コースリザーブは適したサブジェクト領域です

「**Leganto**インストラクターユースージイベント」では、

教員が**Leganto**を

どのように使用しているかを確認できます

タグや期限を追加しているか、などが分かります

「**Leganto** スチューデントユーセージ」では、

リーディングリストと文献が実際に学生に

どのように使用されているかが確認できます

その他のサブジェクト領域には、

リンクリゾルバーの使用のような

**Leganto**に関連する可能性のある情報が含まれますが、

今回はそれらには触れません

すべてのサブジェクト領域の詳細については、

ナレッジセンターのアナリティクスサブジェクトエリアの

記事を参照してください

ここで、**Leganto**に関連する分析を作成する

いくつかの例を見てみましょう

新しい分析を作成するときには、

まずは答えたい質問について

考えてみてください

私の最初の例では、リスト自体に興味があるので、

リーディングリストのすべての本を

表示したいと思います

コースリザーブのサブジェクト領域を使用します

フォルダには、コースリザーブのサブジェクト領域内で

利用可能なデータの種類の表示されます

レポートを作成する前に

いくつかの利用可能なオプションを見てみましょう

リーディングリストの文献のフォルダには、

文献ステータスや

文献に対する図書館タグなどの属性があります

次に、リーディングリストの作成日の

項目のあるフォルダがあります

各リスト内にある

**Leganto**リーディングリストセクションには、

リーディングリスト自体の詳細があります

例えばリーディングリスト名

コースの詳細には

コースコード、

コース名、

コースインストラクターなどがあります

**Alma**の所蔵にある文献の

書誌の詳細、

文献のメタデータの詳細、

文献の著作権情報、

リストに割り当てられた図書館員の詳細、

コースの開始日と終了日、

**Alma**ネットワークゾーンの機関に関する情報

レポートを作成するには、該当フィールドに追加する必要があります

どの図書がリーディングリストに載っているのかという質問に

答えるには、まずリーディングリストにあるマテリアルタイプが必要となります

文献フォルダの中の文献マテリアルタイプを

図書に絞ります

ここでコースコードを取得しましょう

現在のコースのみをさらにフィルタリングするには、

「コースステータス」を「アクティブ」で

フィルタリングできます

コースの開始日と終了日から、

現在のコースをフィルタリングすることもできます

これはすべて、データが組織内でどのように編成されているかによって

異なります

そして最後に、文献メタデータの詳細の下にある

図書の

タイトルを取得しましょう

分析結果は[結果]タブの下で確認できます

これは、リーディングリストにあるすべての図書のレポートです

したがって、各コースについて

そのコースのタイトルのリストを確認できます

結果がよければ、分析を自分のフォルダ

または共有フォルダに保存して、Almaでレポートとして表示できます

次の例では、「学生はコースの教材をどのくらい

使用していますか？」という質問に答えたいと思います

新しい分析を作成しましょう

使用率を見てみたいので

Legantoスチューデントユーセージのサブジェクト領域を使用します

フォルダを見ると、多くが前のサブジェクト領域で見たものと

同じフォルダであることがわかります

しかし、Legantoスチューデントユーセージに固有の物も確認できます

スチューデントユーセージの下にあるものは

すべての使用状況の測定値です

「Number」で始まる項目は合計を示し、

「Students」で始まる項目はユニークな

学生の数を示します

数字は常に等しいものであるとは限りません

たとえば、文献を合計25回表示した5人の学生がいるとします

イベント日付フォルダを使用すると、

使用状況に基づいてデータを分類できます

これで、関心のあるデータ項目を追加してレポートを作成できます

コースコードを追加しましょう

リーディングリスト名

およびスチューデントユーザーページフォルダ内では

合計イベント数、

アクティブな学生、

リーディングリストの閲覧回数、

文献の閲覧回数、

文献タイトル、

文献種別を追加します

結果を文献の閲覧回数で降順に

並べ替えて、

最もアクティビティが多いものを表示します

もう一度結果を確認できます

使用データを含むすべてのコースがあります

作業が完了したらレポートを保存します

**Leganto**に関連する**Alma**の役立つレポートを

いくつかご紹介しました

作成できる方法はその他にも色々あります

以上になります ありがとうございました